

人輝く・安芸高田



あきたかた

# 議会だより

第8号

2006(平成18)年  
2月1日発行

今回の題字は、  
甲立小学校6年生新家 葵さんです。

## 主な内容

滞納・収入未済は早急に対応を.....(決算審査特別委員会).....	2
公共施設水洗トイレ整備.....(12月定例会).....	10
市が損失補償に変更.....(農産物加工処理施設建設).....	11
障害者高齢者対策は.....— 14名が市政を問う—.....	13
元気で長生き.....(委員会報告).....	21
ぼくの夢・わたしの夢.....(甲田町小3年生).....	26
傍聴記.....	24
地域のかがやき.....	28

AKITAKATA

# 滞納・収入未済は早急に対応を

16年度決算247億円(歳出)を認定 委員長 渡辺 義則

平成16年度安芸高田市一般会計決算やその他10の特別会計決算の認定案件が、11月21日開催の臨時会で上程された。

審議については本特別委員会に付託され、11月22日から12月9日までの都合7日間、部局ごとに慎重に審査を重ねた。(4ページから一部掲載)

審議に付された平成16年度の各会計については、旧町の事業を引き継いだものが多く、事業や住民サービス、住民負担などにおいて、市として統一されていないものも見受けられた。

審査の結果、各会計の滞納、あるいは収入未済については、早急に対応されたいとの意見を付して、全て原案どおり認定すべきものと決した。

## 討 論

### 賛成 17名

**賛成討論**  
入本和男議員  
適切な運営がなされており、また、本委員会で成果・課題を追求するなかで、前向きな回答を得ることができた。

### 反対 2名

**反対討論**  
岡田正信議員  
同和対策事業の一般対策への移行が実施されていない。

## 16年度主要事業(抜粋)

事業	内容	事業	内容
地域振興組織への助成 4,197万円	地域振興会等の取り組みに助成	有害鳥獣対策 1,617万円	農産物の被害防止のため、有害鳥獣捕獲
老人福祉事業 3億 3,937万円	在宅福祉や老人クラブ事業、老人保護措置事業など	中山間地域等直接支払い事業 2億 9,986万円	集落協定157、個別協定6参加農家数3,089戸
ごみ対策 3億 2,726万円	芸北広域環境施設組合負担金や生ごみ処理機助成	農業振興事業 7,600万円	売れる米づくり戦略展開支援事業など
特色ある学校づくり事業 1,025万円	地域に根ざした創意工夫のある教育活動を展開	安芸高田市総合計画策定 199万円	10年間の計画のうち前期5年間の施策を具体化した
社会教育施設の維持管理 1億 541万円	ミュージズ、田園パラッツォ、四季の里など	第2庁舎等施設基本計画策定 336万円	建設予定地の土質調査も実施した
図書館運営事業 779万円	図書館蔵書の充実など	母子保健推進事業 924万円	子育ての様々な課題対応
ネットワーク機器管理 2,728万円	公共施設を結ぶ情報ネットワーク	公害防止対策 569万円	水質汚濁状況の調査など実施
第1・第3分庁舎取得 3,570万円	現在、産業振興部・教育委員会が入っている施設	観光振興事業 1,589万円	観光パンフレット作成など
緊急雇用創出事業 6,318万円	障害者福祉施設支援など	国際化・情報化社会対応事業 816万円	ニュージーランド・シンガポール交流、IT講習会の実施など

# 決算審査特別委員会報告

**主要市道の整備**  
6億2,194万円  
20路線の整備に着手した。  
(うち6路線完了)



**JR 向原駅周辺整備**  
957万円  
駐車場建設に向けて用地買収  
(18年2月より供用開始)



**吉田温水プール建設**  
5億5,963万円  
地中熱を利用した温水プール  
(17年3月より供用開始)



**コミュニティ・プラント整備**  
1億3,077万円  
浄化槽工事中  
(18年4月より供用開始)



**公共土木施設災害復旧**  
4,376万円  
台風10号(夏)と23号(秋)による災害の復旧工事



**簡易水道施設整備**  
11億4,407万円  
5地区実施  
高地長屋地区(甲田)



**消防防災施設整備**  
3,834万円  
防火水槽を8箇所設置



**16年度  
主要事業  
(抜粋)**

**農村総合整備事業**  
7,818万円  
水辺環境や四之谷地区整備



**林道新設**  
4,069万円  
天王山線等6路線新設



**農林施設災害復旧**  
7,506万円



**高宮堆肥センター建設**  
3億4,417万円  
(17年6月竣工)



**生活交通確保対策計画策定**  
367万円  
市内バス路線の再編と予約乗合タクシー計画が中心



**学校教育施設・設備の充実**  
8,558万円



**ほ場整備事業**  
1億2,950万円  
井才田(甲田)工区など



# 行財政改革の推進を 市財産の運用は



## 経常収支比率とは

財政に余裕があるかどうかをみるための数値です。地方税、普通交付税など毎年決まって入ってくる収入が、人件費や施設の維持費、借金の返済など毎年決まって出ていくお金にどの程度使われたかを示しています。

平成16年度の安芸高田市の場合、決まって入ってくる収入135億円のうち94%（経常収支比率）にあたる128億円を人件費や公債費に使い、残り7億円を普通建設事業などに使ったりすることになります。

一般的に75%程度が妥当な比率といわれています。

**Q** 経常収支比率が極めて高いが、今後も増大していく傾向にあるのか。

**A** 合併前の旧町時代入ってくるので、公債費（借金の返済額）はさらに増大すると思われます。

今後、経常経費の削減と、厳正な予算執行に努めます。

**Q** 行政改革で、職員の取り組みは。

**A** 専門性を持った職員を育成すべく、他の団体の研修へ出席させるなどのプランを作成しています。また、18年度には職員の異動要望をとり、時間をかけて取り組んでいきます。

ウィルス駆除ソフトを入れて対応



**Q** パソコンウイルス感染への対応は。

**A** サーバー・パソコンへ対応ソフトを入れています。

**Q** 財産管理で、運用や活用方法は。

**A** 遊休地は、買い手があれば処分します。台帳を整備して進めます。

# 美土里町 4 校の跡地利用は 防火水槽整備計画は



学校跡地利用の対策を

**Q** 地域振興会の活動で、一律の助成は活かされているのか。  
**A** 今後、地域のなかで、十分この助成金が活かされるよう検討します。

**Q** 美土里町の小学校 4 校跡地利用は、行政指導する必要があると思うが。  
**A** 17年度は、施設の機能・規模に合わせて、管理費用などの面

も含めて、近隣の施設を参考に指導しています。

**Q** 行政と「まちづくり委員会」の関係は。  
**A** 30名の委員で構成され、委員の声により地域の課題を抽出し、その解決策を本市の施策に反映させています。

**Q** ホームページによる情報提供をもっと早くできないか。  
**A** 各課で情報を収集し、掲載の自身を作成しています。トップページに新着情報を掲載しています。

**Q** 地域イベントへの活動支援には一定の基準があるのか。  
**A** それぞれの中身が違うので一律にするのは難しいが、今後、実績に基づき金額を決

**Q** 防火水槽の整備計画は。  
**A** 補助事業を有効活用し、各町に1年に1箇所は増設したいと考えています。



各町に年に1箇所は増設予定

定するよう検討します。

**Q** 防火水槽の整備計画は。  
**A** 補助事業を有効活用し、各町に1年に1箇所は増設したいと考えています。

**Q** 16年度の救急出動状況は。また、全国平均と比較してどうか。  
**A** 出動は1400件あり、全国平均と比較すると1日当たり1回出動回数が多いです。

**Q** 16年度の救急出動状況は。また、全国平均と比較してどうか。  
**A** 出動は1400件あり、全国平均と比較すると1日当たり1回出動回数が多いです。

# 人権会館の実績は 野焼き禁止の啓発は

**Q** 人権会館での相談事業の実績は。

**A** 吉田町170件、八千代町73件、高宮町209件、甲田町639件、美土里町188件の計1279件です。

**Q** 資源ごみの回収、分別収集で、住民の意識の高揚策は。

**A** 地域振興会での取り組みもあり、老人会、子ども会、また広報など活用し、意識の高揚を考えております。

**Q** 税の不納欠損額はいくらか。また、改善策は。

**A** 3千万円程度です。滞納分を減らす改善策は、面接がよい方法ですが、合併直後なので、現在その取り組みが充分行える状況にありません。

**Q** 不法投棄の監視体制は。また、17年度の対応は。

**A** 監視体制として市内2箇所カメラを設置しました。17年度の不法投棄は63件で、3件の行為者が判明しました。

シルバー人材センター、郵便配達員、公衆衛生推進協議会においても監視に協力していただいています。

**Q** 野焼き禁止啓発の成果は。

**A** 野焼きについては苦情も多くあり、パトロールも実施しています。悪質な場合は、警察との連携も考えています。

**Q** 男女共同参画プラン策定事業の進捗状況は。

**A** 住民の意識調査を踏まえて、委員会を開催し、事業の骨子を

## ひとくちメモ

### ごみの野焼き

ドラム缶や空き地などでごみを焼却することは禁止されています。例外として、①たき火その他日常生活の焼却であって軽微なもの ②農業、林業、漁業を営むためやむを得ないもの(あぜ草や下枝の焼却など) ③とんどなど風俗習慣上の行事 がありますが、生活環境上支障を与え、苦情などがある場合は、各種行政指導の対象となります。

## レセプト点検とは

医療機関や調剤薬局などからの診療・調剤報酬明細書の内容や受診者の保険資格などを点検し、適正な医療費の支払いを行うために実施する点検のことです。

**Q** 健康教室で温プールの活用と送迎は。

**A** 吉田温泉プールで10回教室を開催し、送迎は、「ふれあい号」を利用しました。

**Q** レセプト点検による効果は。

**A** 医療機関への注意喚起と不正請求のチェックの役割などの効果がありました。

**Q** 健康づくり推進事業の成果は。

**A** 16年度は旧町の保健師活動を引き続きいたしましたが、17年度は全市で統一した形で事業を展開しています。健康アンケートを実施し、18年度に「健康づくりリーダー」を育成していきます。

として、環境づくり、人づくり、安心づくりを視点にまとめていきます。

## 有害鳥獣対策で農業を守れ 紙マルチ田植え機の活用は



市民農園の利用率アップを

**Q** 有害鳥獣対策の組織と体制は。  
**A** 各町1班20名体制で、月ごとの捕獲頭数の提出をお願いしています。6町で連絡協議会を設けています。

**Q** イノシシやシカの駆除頭数が多いが、財源に使える見込みは。  
**A** 飲食店へ供給される場合があります

が、直接販売ということにはなりません。

**Q** 市民農園の16年度利用状況は。  
**A** 農園は、甲田町、向原町にあり、全区画の6割程度の利用率でした。

**Q** 林道は、防災にも役立つと思うが、今後の整備方針は。また、林道マップは。

**A** 重要と認識し、地域森林を見直して、改良していきます。林道マップは作成しています。

**Q** 後継者育成等、産地維持のなかで、広島牛エコファーム整備事業内容は。

**A** 2戸以上で10頭以上飼育農家の堆肥舎整備補助で、16年度で完了しました。



紙マルチ田植機 改良しながら推進

**Q** 紙マルチ田植え機の使用状況と、今後は。  
**A** 田植え機2台で、7ha実施しました。風が強いと使用困難という問題がありますが、改良しながら推進していきます。

**Q** 荒廃農地の管理指導は。  
**A** 荒廃農地の連絡を受けると、現地調査を行い、地元の農業委員に指導していただいています。

# 指定管理者制度活用は 商工業の育成は

**Q** 観光施設の管理に指定管理者制度の活用は。

**A** 制度を活用することで、管理が効率的になり経費削減も期待できますが、旧町の管理状況も違っていましたので、現在、管理方法については精査しているところです。

**Q** 6町商工会・広島大学と共同で、安芸高田市産業振興ビジョンを作成されたが、17年度の取り組みは。

**A** 産業活動支援センターを6町商工会と共同で設立し、工業系企業への経営革新指導等を行っております。

**Q** サンフレッチエ支援策によって収入をもたらす役割が、商工観光課にはあると考えるが。

**A** そういった観点も今後十分検討します。

**Q** 地域の発展には、農・商・工の一体的発展が望まれると思うが。

**A** 生産から販売まで一環した支援が必要で、製造業も含

めた工業部門も商工会と取り組みます。

**Q** 今後の国際交流の取り組みは。

**A** ニュージールランドとの交流は継続します。高宮町以外にも枠を広げていきたいと考えています。



地域の発展は農・商・工の一体化から

**Q** 6図書館の特色を出すべきで、16年度は図書館のバランスがよくないが、今後の取り組みは。

**A** 市全体の図書館のあり方を、新たに建設予定の図書館も併せて検討します。



バランスの良い図書館を(吉田図書館)

**Q** 各教育分室でのIT講習の実績は。

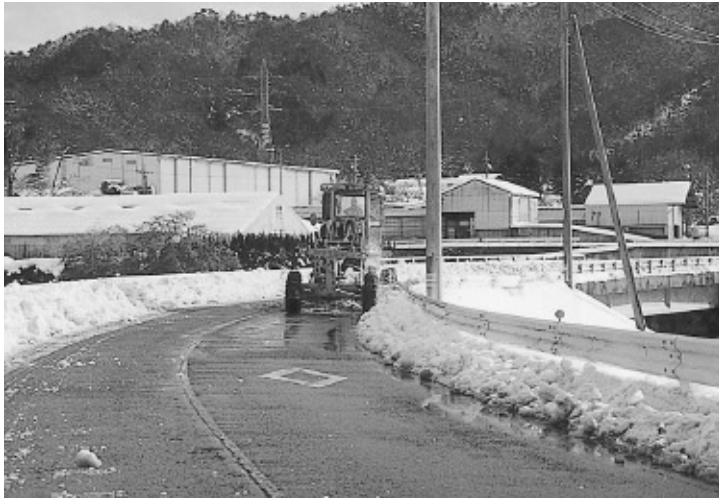
**A** 毎週、定例会を開催し、共同事務の効率化を進めています。

**Q** 学校事務の効率化は。

**A** 吉田8講座116名、八千代8講座106名、美土里3講座48名、高宮5講座48名、甲田3講座52名、向原3講座89名です。



## 12月除雪費用約4,500万円 除雪の苦情対策は



豪雪でかさむ除雪費

**Q** 土木事業が本市の経済に与える影響は大きいですが、今後は、継続事業の早期解決が最優先されるので、新規事業の実施は困難であると考えられます。

**Q** し尿処理実績は15年度と比較してどうか。

**A** 年々、浄化槽による処理が増えていっているので、し尿処理は減っています。

**Q** 除雪は、効果が出ていないとの苦情もあるが。

**A** 12月の除雪で、約4,500万円の経費がかかりました。支所と連携をとり、適切に対応します。

## 臨時会

11月21日開催の臨時会では決算認定案件以外に、人事院勧告に伴う関連条例の改正や一般会計補正予算、特別養護老人ホーム「かがやき」新築工事の工事請負契約の変更などの議案が上程され、議決されました。

### 【主な内容】

#### ○一般会計補正予算

9月の台風14号による被災の災害復旧(47箇所)への支出が主な内容で、歳入歳出に1億9,056万円を追加し、234億5,500万円とするもの。

#### ○特別養護老人ホーム「かがやき」新築工事の工事請負契約の変更

特別浴槽やバルコニーからの転落防止設備の整備や、不審者の侵入を防ぐための屋外非常階段の電気錠の整備などの工事内容の追加に伴い、契約金額を2,814万円増額し、8億8,704万円とするもの。

# 公共施設水洗トイレ整備

第4回安芸高田市定例会は、12月13日から22日までの10日間を会期として開かれた。

一般会計補正予算などの25議案、発議2議案が上程され議決した。

また、決算審査特別委員会で審議された平成16年度各会計の決算について認定した。

一般質問では14名の議員が施政を問うた。

## 補正予算

### 【一般会計】

#### ■主な歳入

##### 繰越金

1億5,181万円

県支出金 8,388万円

市債 5,904万円

市税 880万円

#### ■主な歳出

##### 総務費

1億7,318万円

##### 主な内容

○財政調整基金積立て

○JR向原駅身障者用

トイレ設置工事

○生活交通路線維持負担金

民生費 7,287万円

##### 主な内容

○特別養護老人ホーム

「かがやき」の外溝な

どの工事、食器厨房

機器整備など

○年度途中からの入所

児増加に伴う私立保

#### 育園委託料

衛生費 4,505万円

##### 主な内容

○精神障害者就労促進

補助金

○ホームヘルプサービ

ス補助金

#### 農林水産業費

154万円

##### 主な内容

○ハートフル農園支援

事業(身障者等の雇

用のための施設整備

事業)

商工費 1,582万円

##### 主な内容

○吉田町4丁目の公衆

用トイレの老朽化に

伴う移設改築工事

教育費 1,580万円

##### 主な内容

○甲田公民館トイレ修

繕工事

○吉田公民館代替施設

修繕工事

○学校施設の修繕、教

材等消耗品費



移設改築決定の公衆トイレ（吉田町）

# 農産物加工処理施設建設 資金調達 市が損失補償に変更

メリット大きい  
農業振興と雇用拡大

変更になった  
説明を具体的に

## 児玉市長 変更説明

当初計画では、H A C C P 資金については、借り主はアグリフーズ(株)で、連帯保証人として広島駅弁当(株)及び同社中島社長ということでした。ところが最近になって、市の損失補償をつけてもらいたいという申し出がありました。行政機関に債務保証は法的に認められていないが、損失補償は認められています。農林漁業金融公庫も、実績のない融資に関してかなり慎重になっています。この事業は、農業振

興と企業誘致による雇用拡大の面からメリットが大きく、また、広島駅弁当(株)が資金を投入するなど本市にとって非常に有利な事業ですが、H A C C P 資金融資の件で最悪の場合、本市に損失補償をお願いしたいという話であります。広島駅弁当(株)については県下の弁当会社であり、本事業の関係の販路も既に目途をつけているということですので。

今の段階では、この損失補償を認めてもらえるかどうかというところにかけていることをご理解いただき、本定例会内に債務保証契約について議決いただきたいと考えています。

## 審査内容

**Q** 時系列で、説明してほしい。

**A** 8月以降、広島駅弁当(株)とアグリフーズが一体となり事業認定、申請書類を作成し手続きをとってまいりました。融資についても、

広島駅弁当(株)が農林金融公庫へ事業計画を説明するとともに、融資条件について協議を進めてまいりました。

10月19日

農林公庫が、現地視察と併せて来庁した際、融資条件について説明を受ける。この時点で変更はなかった。

11月4日

受託金融機関である県信用農業協同組合より、本市の損失補償について申し出があった。

11月18日

農林公庫が県信用農業協同組合とともに来庁し、損失補償が融資条件であることが明示された。

本市は、広島駅弁当(株)との基本協定書があるため、損失補償はしない方向で交渉したが了解を得ることができませんでした。

11月22日

広島駅弁当(株)の社長が来庁し、本市の理

解を得たい旨の申し出があった。

このような経過から、損失補償せざるを得ないと判断するに至りました。

**Q** 原因は執行部側の調査不足か、公庫側の説明不足か。

**A** 時間の経過のなかで状況が少し変化しましたということです。

**Q** 広島駅弁当(株)の信用性が薄れてきたということなのか。

**A** 公庫が審査する過程で、広島駅弁当(株)やアグリフーズ(株)の信用性というよりも、事業そのものがこれまでの実績がないのでどうなのだろうかという判断をしたということだと考えています。

# 資金調達の見通しが甘かったのでは 販売先は確保できている

**Q** 最終的な出資率と  
広島駅弁当(株)の資  
金力について伺う。

**A** 出資比率について  
は、安芸高田市が  
1,130万円(37.7  
%)、JAが400万  
円(13.3%)、広島駅  
弁当(株)が1,470万  
円(49.0%)で協定  
書の通りです。広島駅  
弁当(株)の業績も順調に  
伸びています。

**Q** 協定書を、JAに  
もある程度負担を  
強いる変更内容にする  
べきではないか。

**A** JAは低金利の融  
資の面で協力いた  
だいています。

**Q** 明快な情報提供を  
いただかないと、  
議会としてチェックが  
正常に行えないが。

**A** 我々としても予測  
できないことでは  
ない。再三協議を重ねた  
が、不確定な情報を流  
すわけにはいきません

でした。  
正式に公庫から損失  
補償の申し入れがあつ  
たのは11月18日でした。  
それから内部協議し、  
広島駅弁当(株)の考え方  
の整理を行いました。

**Q** 全国各地での第3  
セクター事業の破  
綻などで、融資の条件  
等は厳しくなっていた  
経緯があつた。見通し  
が甘かったのではない  
か。

**A** おっしゃるよう  
に情勢が変わったこ  
とが要因です。甘さは  
あつたがなかなかそこ  
まで見通すことができ  
ませんでした。

**Q** 具体的審査の段階  
で変わっていくの  
はよくあるケースであ  
る。さらなる本市の農  
業振興に寄与する具体  
的計画の見通しが重要  
だ。

**A** 20年度までのアゲ  
リフーズ(株)の計画

は既に立てています。  
販売先が確保できてい  
るので確実性が高いと

考えます。問題は農産  
物の生産面で、米生産  
は大丈夫ですが、野菜  
生産についてJAと連  
携していきます。

## 審査意見

執行部に対して次の意見を踏まえ今後の事業を執行  
されるよう要望しました。

農業施策については、経営所得安定対策事  
業など課題が多くあるなかで、農業振興、雇  
用の面からもこの事業は重要で、また、損失  
補償についても法的にも認められている制度  
であると認識している。  
ここで事業を止めるわけにはいかないの  
で、今回の事態は認めざるを得ない。

本市は、広島駅弁当(株)、JAの経営など、  
事業の様々な詰めが出てくる。市のこれから  
の姿勢として、具体的な協議を今後もしっか  
り詰めていくこと。

3セクは課題が多いが、経営さえしっかり  
していれば問題はないことでもある。ほ場整  
備地の野菜生産は土壌の問題もあり、口先で  
野菜を作るといってもそう簡単ではないの  
で、対応すること。

広島駅弁当(株)を含めて、最終的に市に負担  
がかからないようにすることが一番大事で、  
今後の経営を安定させることを、営農を含め  
てしっかり取り組むこと。

# 14名が 市政を問う



亀岡 等  
(新政会)

障害者・高齢者

対策について

**Q** 改正された障害者自立支援法、また、

改正が目前にきている高齢者医療関係法など、弱者に厳しい制度改正が強行されているが、市政としては、どう受け止め、対策していくのか。

**A** 今回の改正は、これまでので応能負担の考え方を改め、障害のある人も社会の構成員として利用者負担を

し、在宅で暮らす者との公平性の確保と、低所得者に対する配慮を行うものです。

また、高齢者医療関係法などの改正は、今後とも安定的で持続可能な制度として運営していくために改革していきます。

市は、こうした改正のもとで、障害者や高齢者に対し、どのような対策ができるか、施策のなかで考えていく必要があります。



松村 ユキミ  
(新政会)

就学前教育の

充実について

**Q** 昨今、幼児教育の重要性が唱えられ

る中で、本市における幼児教育(就学前教育)は万全か。

**A** 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」に基づき整合性をもった指導がされています。

今後、ますます県主催の研修会等へ積極的な参加を促し、適切な指導、支援ができるよう専門的力を備え

ていきます。また、市内の、幼稚園長、保育所長、学校関係者等で

構成する「(仮称)幼保小連携教育推進協議会」の設立も視野に入れ、幼児教育の質の向上を図ります。

少子化対策について

**Q** 若者定住、人口増を考える上で、企業誘致する考えは。

**A** 少子化対策の一環としては、住宅、道路網、教育、福祉、



幼児教育の質の向上を

医療、就業の場の提供など、総合的で多様な整備が必要です。企業誘致による就労の場の

提供も重要な課題であると考え、確保には今後も努めます。



杉原 洋  
(新政会)

未収金・滞納の整理は

**Q** 16年度の決算審査で、未収金・滞納

金が15年度より増加している。行政の自主性、財源の安定性の観点からも、未収金、滞納金を徴収整理することが急務と思うが。

**A** これまで戸別訪問、電話の催告、催告状の発送、分納誓約等により徴収にあたり現年度分については発生させないように取り組んできました。過年度分滞納者に対しては、税の公平性の確保のため、税法上の差し

押さえや、民法上の裁判手続きの執行を、目標数値を掲げ、組織全

体で取り組んでいきます。



秋 田 雅 朝  
(政友会)

農畜産振興施策の

今後は

**Q** 三位一体改革による18年度農林水産予算の対応策は。

**A** 継続事業、重点事業では、県予算の重点配分を要望し、影響が出ないよう予算獲得に努力します。

**Q** 「品目横断的安定対策」の周知徹底、取り組みは。

**A** J A 広島北部農協と連携して説明会の計画をしています。担い手育成・集落営農のなかで、J A、農業委員会と連携して事業の推進を図ります。

**Q** 美土里堆肥センターでは、総合的な運営管理が必要と思うが。

**A** 施設も老朽化しており、施設の状態、処理方式、運営形態等、検討しなければならぬと認識しています。

**Q** 資源循環型農業の推進において、堆肥ストックヤードの建設は必要と思うが。

**A** 安芸高田市資源循環型農業推進協議会を核として検討し、システムづくりのなかで、堆肥ストックヤード整備について検討が必要と考えています。

**Q**

19年度から始めようとしている農林水産省の「品目横断的経営安定対策」は、大規模農家「40〜60ヘクタール」の育成であり、本市の実態と合わない。

**A** 国のパンフレットの表紙に「雪だるまの絵」があるように、この政策は溶けてなくなると思うが、所見を伺う。  
**A** 基本的には生産活動は集落単位で推進する計画です。本制度の対象となる



岡 田 正 信  
(日本共産党会)

担い手認定農家、集落営農組織などに、説明会を行い、具体的に取り組みます。

**Q** 固定資産評価が行なわれるが、旧6町の標準化は。

**A** 18年度は旧町での評価方法で課税します。

宅地、雑種地の評価基準には、各町に相違があるので、21年度の評価替えを目標として取り組みます。



加 藤 英 伸  
(新政会)

**Q** 農業の重要施策は。

**A** 「農業の担い手の育成」と「集落営農

## 品目横断的政策



政府が、農政改革の要と位置づける、農家の経営安定対策。現行制度は、「大豆」「麦」など品目別に価格安定補助金を支給している。今後は品目にこだわらず、農家自体の経営状態に応じた所得補助に改められる。

補助対象となる農業経営者の要件は現在、非常にハードルが高く設定されており、本市のような中山間地にとっては極めて厳しい政策となっている。

平成18年通常国会に関係法案が提出され、平成19年度から導入が予定されている。

の推進」を図りながら地産地消、農産物処理加工センター活用などの推進に力を入れます。

**Q** 産直市の今後の見通しは。

**A** 16年度の総販売額は14億円に達しています。しかし、近年

は会員の高齢化が進み、伸び悩んでいます。今後は、定年帰農者などの誘導策に努めます。

**Q** 広島市への農産物拡販政策を伺う。

**A** 現在、安佐北区の「元氣市」へ出荷しておりありますが、直接出

店すれば、財政的な問題もあり、慎重に検討します。

**Q** 市道の維持管理方法を統一し、経費の節減を。

**A** 市道の維持補修を一気に統一することは難しいが、舗装路面の補修等については、統一した単価契約を採用しています。



山本三郎  
(政友会)

就学前児童の健康診断について

**Q** 各町で実施していた健康診断が大きく変更された。従来の実施方法が保護者に懸念されるが、今回の変更の経緯を伺う。

された検査項目に統一し、2会場へ連れてきていただくことを原則としました。今回の実施においては保護者の方々にご迷惑をおかけしました。今後は、17年度の反省を活かし、十分配慮して実施します。

**A** 変更理由は、「行政改革」の一環とし経費節減を視野に入れ、安芸高田市の統一的事業に整理いたしました。

旧6町で実施されていたものを、法令で示

健康づくりの目標を



今村義照  
(あきの会)

しています。

**Q** 政策評価、目標管理の観点から、長寿のまちづくりを目指さないか。

○10年後平均寿命、健康寿命を男女とも二才以上上げる政策。

○寝たきり老人を半減する政策の具体化。

○国保、老人保健費を削減する目標設定。

寝たきりをゼロに

**A** 18年度、市の健康増進計画を策定します。「自分たちの健康は地域で支え、守っていく」ことで地域支援事業、新予防給付に

取り組み、「寝たきりゼロ」を目標とすれば削減につながると確信

**Q** 行革の視点で公務員改革を進めるために、学校給食、保育所運営の外部委託、民営化を早急に行われな

**A** 施設の老朽化が進んでいる。今後、3カ年かけ「学校の給食整備、運営の基本計画」を予定しています

が、保育所の運営については市長提案で議会と協議することも考えています。

**Q** 幼稚園と保育所の連携と一体化、なかでも就学前教育を。

**A** 幼保小連携教育推進協議会(仮称)を設立し、具体策を研究していきます。

していきます。



老朽化が進む給食センター



渡辺義則  
(新政会)

**Q** 「行財政改革」の更なる推進のため、人事管理組織の体制強化が急務と考えるが。

**A** 「行財政改革推進」を念頭に職員の設定を念頭に推進し、スリムで効率的な組織運営を行うことは、本市

の行政運営の根幹に係る極めて重要な課題であると認識しており、今後、人事管理は、より専門性を発揮し、本市行政組織の舵取りが適正かつ円滑に行われるよう体制整備に努めます。

**Q** 新生安芸高田市が誕生して2年目を迎えるこの期に、市民憲章や市の歌、市の木、市の花等の制定の考えは。

**A** ご提案のことは検討が必要と考えております。今後、市民

の意見が反映できる手法を検討します。

**Q** 市内に残る旧町役場の看板や標識の早期撤去を。

**A** 撤去費用も大きな負担となりますが、順次、改修します。



金 行 哲 昭  
(政友会)

工事代などの支払い遅延に対する条例は

**Q** 遅延による徴収条例はありませんが、支払い遅延に対する条例規則等は。また、工事代や給付等に対する支払い期日は。

**A** 市の条例にはありませんが、「政府契約の支払い遅延防止等に関する法律」で行っています。また、支払い等の遅れもあり、早急に処理します。

なお、法律では請求書を受理した日から、工事代金は40日で、その他の給付等については、30日以内に支払いをしなければならぬ規定となっています。

**Q** 公共施設のトイレ水洗化の状況は。

**A** 学校施設の水洗化を優先にしています。また、社会教育施設のグラウンド等は、計画的に進めていきます。



明 木 一 悦  
(あきの会)

**Q** 行政改革推進実施計画の進捗状況は。

**A** 全項目についての各部局の現状、課題、手法等を検討中です。

今後の内部改革は評価、人的配置、意識改革、目的意識等が重要と考えます。

**Q** 18年度予算への行政改革の反映は。

**A** 現在の状況下で、市財政の投資は非常に難しく、行政改革を検討しながら効果的な予算編成ができるよう検討中です。

**Q** 第2庁舎・文化保健福祉施設建設の経費は。

**A** 多目的かつ簡素な有効施設建設を行

います。

**Q** 「協働のまちづくり」は、情報公開より情報提供を。

**A** 市長交際費等も含めて、今後、市民との共有化を図るうえでも、行政情報の提供を進んで行いたいと思います。

**Q** 「指定管理者制度」今後の運用は。

**A** 管理権限を市に残し、質の高いサービス、経費の縮減等民間ノウハウを取り入れ多様化するニーズに対応したいと考えます。



田 中 常 洋  
(政友会)

**Q** 痛ましい事件が多発する昨今、当市の宝である児童生徒に対する安全対策は。

**A** 本市の安全推進室、吉田警察署の指導を受け、登下校の指導、通学路の安全点

検、子ども110番への協力、防犯ブザーの携帯と点検、市老連へ協力を依頼しました。また、小・中・高・幼稚園、保護者との連携を密にしています。



子どもを守ろう、市民の協力で



興会組織の育成は、直接顔を出し、考えや市の実態を話し、市民の声を聞くことが、情報公開の原点で、市民の協力を得



18年度に向けて決意しています。振

学校給食も地産地消で

**Q** 18年度予算編成の基本方針と決意は。特に、○行財政改革の推進策と、○住民自治振興組織の育成支援策は。

**A** 合併建設計画を中心とした各事業を早期に進めます。財政は危機的状況の中、合併特例債を有効的に活用します。また、優秀な職員が多数おり、働きやすい環境づくりを

られる一番の方法であり、結果的に育成につながるかと考えています。

**Q** 農業と食育を中心

に据えた、伝統的な日本の良さを活かした特色あるまちづくりが必要ではないか。

**A** 学校給食等も、地産地消に心がけており、今後その生産現場である「農」とのつながりを含めた「食育」

のあり方も、組織的に取り組むよう検討していきます。また、土づくりを始めとする基本的な取り組みが出来るよう、J Aと連携し、地域営農の技術指導体制、流通部門のあり方や、農業特区なども検討します。

さらに、施策のスピードアップを図ることや、独自のまちづくりを行うためには、審議会などを経ずに、市長提案の議案を議会で審議していただき、執行していくことも必要と考えています。



熊高昌三  
(あきの会)

**Q** スクールバスで子どもを守れ。

**A** スクールバス3路線のほか、バス通学者には通学バス助成金を継続し、バスを利用しやすい環境づくりに努めています。

**Q** 登下校の安全確保には万全を期すべきと認識しており、危険地域の確認・危険箇所の安全マップを作成して、警察・地域の推進員さんと連携を固めます。



入本和男  
(あきの会)

**Q** 鳥インフルエンザの対応は充分か。

**A** 土・日曜日も連絡がとれるよう市・県と連携がとれています。

**Q** 市の壮行会・激励会は、選手の気持ちになつて。

**A** 選手が意欲をもつて、市の代表として頑張つて大会に参加できるように努力します。

**Q** インフルエンザの予防推進は。

**A** 対象者交付済みが7411人で、インフルエンザは合併症を引き起こし、死に至ることもありますので、予防に努力していきます。

**Q** スポーツ指導者の育成は。

**A** 各種スポーツ指導者が幅広い知識と技術を習得し、地域スポーツ振興のリーダーとして活躍していただけるよう対応します。

**Q** 救急医療の分駐所は。

**A** 経費をいかに低コストで実現、実施できるか現在、国と折衝しています。



インフルエンザの予防接種を

安芸高田市消防本部

# 急げ 救急分駐所

委員長  
熊高 昌三

## 〔調査目的〕

消防署から30分以上かかる地域の救急体制整備の必要性が高まるなか、17年度において、その解決に向けての方向性を出すため調査した。

消防活動拠点施設整備に関する調査結果について執行部より報告を受けた。

拠点施設の業務のなかで、特に「救急」体制の整備が喫緊の課題であり、市財政難の面から、「救急」業務のみ対応できるシステムを国と協議中であるとの報告も受けた。

委員会では、その動向等も見ながら継続審査していく。

## 「質疑応答」

**Q** 人件費軽減で第2の消防職員という身分での配置となると、救急業務だけに防業務も併せるのか。

**A** その場合は、救急業務だけをやる職員を新たに配置することになります。現消防法では認められていないのですが、特例として国に打診しているところです。

**Q** 美土里・高宮にそれぞれ救急車があるだけで住民は安心するので、いち早く置く方向を。

**A** できるだけ早く市民の不安を解消できる方法を検討していきます。

**Q** 近隣の消防署との連携による救急体制は。

**A** 実際、連携となるりと、諸事情でかなりの負担を要しますので、出張所の整備の方が、負担が少なく効率的です。

**Q** 心肺停止の場合には応急処置をしないと生率が低くなるので、AEDを含めたソフト的なことについても、もっと啓発を進めては。

**A** 現在、バイスタンダー（その場に居合わせた人）による応急処置の普及に力を入れていきます。

地域振興会単位での指導が効率的と考えています。

AEDについては、学校やプール、事業所等に機械を設置していただくようお願いしたいと考えています。



市民が安全・安心できる分駐所を

### ひとくちメモ

### AED（自動対外式除細動器）とは

突然死の死因のほとんどは心臓疾患です。その大部分は心室細動という病気が原因です。心室細動になると心臓がけいれんし、ポンプとしての役割が果たせず、助かるチャンスは1分経過するとに約10%づつ失われ、10分後にはほとんどの人が死に至ります。

この心室細動を元に戻す唯一の方法は除細動（心臓への電気ショック）です。

AEDは心臓の状態を判断し、電気ショックが必要な場合は、自動的に電気ショックを与える機械です。手順は音声ガイドでも指示されます。

# 行政改革・消防署・まちづくり

福岡県(甘木市・宗像市)佐賀県(唐津市)

11月14日～16日

視察

## 視察目的

「甘木市」「宗像市」

行財政改革に早期から取り組まれており、全国でもトップクラスの先進地であるため、主な取り組みと、効率的な行政運営である行政評価システムの取り組みについて視察。

「唐津市」

面積は本市とほぼ同じなかで、分署等が配置されており、どのような取り組みをされているのか。また、現在、佐賀県で最も元気にまちづくりに取り組んでおられるような取り組みをされているかを視察。

## 視察から受けた安芸高田市の課題

「行財政改革」に取り組むためには、実施している事務事業の適切な評価・見直しが必要で、職員意識の高揚も要する。そのためには、職員アンケート等により意見を反映していくことや、職員の評価等も必要になってくると思われる。

「消防に関して」は、消防団と本部の連携をはかるとともに、新しい拠点施設ができることを望む。

「まちづくり」については、地場産業から観光までの全てが密接に関わり、住民が大きく関わっていくことが望ましい。



まちづくり研修風景



研修風景

### 「予約乗合タクシートの今後は」

予約乗合タクシーについて、8月17日から11月30日までの間に、予約乗合タクシーの試験運行の利用状況等が執行部から報告され、今後の運営などについて審査した。

### 「質疑応答」

**Q** 6ヶ月の試験運行期間の延長は、通年での利用者を見極める必要がある、6ヶ月間延長します。

**A** 住民へ再度説明し、制度が浸透する配慮を。

**Q** 利用者がいない町があるが。

**A** 年明け早々に住民アンケートと、タクシー業者の連絡協議会への実情のヒアリングを行い、制度が浸透すれば、利用者は増えてくると思われ。

**A** 利用登録者が少ないことや、通院・買い物エリアが原因ではないかと考えられます。アンケート調査をして、具体的な状況を把握します。

**Q** 利用時間についても調査し、調整すれば利用が増えるのではないかと。

**A** 今設定している時間を、今後、利用者の意向を伺い、改善していきま

**Q** タクシー業者の格差の解消や、

視察

# 保育所 幼稚園 一体化で就学前教育

岐阜県瑞浪市 10月17日 委員長 今村 義照

幼保一体化の例(岐阜県瑞浪市)		
	保育所	幼稚園
7:30~8:30	延長保育	
8:30~14:00	就学前教育合同活動 (年間教育指導内容に沿って実施)	
14:00~14:30	帰りの会	
14:30~16:30	通常保育	
16:30~18:00	延長保育	

※土曜日は保育所のみ13:30まで

「視察目的」

瑞浪市では、市内どこでも、幼保児（5歳児）につけなくてはならない力をつけることを目標としている。既存の施設を利用し、市内全域に均一な教育・保育サービスの提供をめざしている先進的な取り組みを視察。

「安芸高田市は」

市内の5歳児には同一の保育サービスを実施することにより、小学校へのなめらかな移行につなげていきたい。

視察

# 子育て支援の不安解消は 専門家で

長野県小諸市 10月18日

「視察目的」

小諸市では、平成13年から育児中の保護者に対し、交流の場を設けるために、保健課及び家庭児童相談員と協力し、児童館を午前中に開放し、子育て支援「児童相談」を開設した。

この事業が利用者からの要望も大きく、さらに充実させるため、平成14年からは、常設型の「子育て支援センター」として開所するに至っている。事業の内容は、保護者の交流の場、児童館の開放、児童相談をしている。

「安芸高田市は」  
次世代育成として子育てをどう認識するかが最大課題だ。保護者、乳幼児の交流を通して、自立心を向上させることが必要で、計画されるセンター等におけるスタッフには子育ての専門家が不可欠だ。発達段階に応じた子どもへの対応、親のあり方、かわり方の指導性が求められている。



研修風景

視察

# 元気で長生き 保健補導員制度を導入

長野県  
佐久市  
10月19日

「視察目的」

かつて脳卒中死亡率が全国のトップクラスであった佐久市は、平成12年に「健康長寿都市宣言」をかかげ、「元気で長生きをし、病まらずに亡くなる」をモットーとした、行政と市民の一体的な取り組みを視察。

「保健補導員制度に注目」

この制度の導入で、女性の方を主とした保健活動を展開され、市民の健康に対する意識向上に貢献している。

「安芸高田市は」

健康、長寿を市全体の目標として掲げるのも施策である。例えば10年後に市民の平均寿命を2〜3歳あげる、

## 健康長寿状況の比較

	佐久市	安芸高田市	全国平均
寝たきり高齢者率	2.98%	4.76%	5.33%
認知症高齢者率	0.52%	1.59%	0.59%
90歳長寿率	3.14%	2.21%	2.43%
1人当たり老人医療費	65万円	82万円	82万円

寝たきり高齢者の半減、老人医療費を一人当たり10万円下げるとの目標を設定し、行政と市民の共通認識を醸成し、その目標に向け、

市全体で総合的に取り組む戦略を立て、年次的に評価し、検証する仕組みを提案したい。



認知症徘徊  
高齢者安全服貸出事業



# 下水道料金統一へ

検針・納付は2ヶ月に1回 18年4月より

委員長  
渡辺 義則

下水道使用料金統一に伴う調整について、執行部から報告を受けた。

委員会では、料金の統一は合併協定の決定事項でもあり、課題を解決しながらいち早く実施すべきであるとの意見でまとまった。

## 〈概要〉

下水道使用料金について、これまでは旧町ごとで違いがあり、18年4月使用分から、統一されます。市水道のみの場合は水量制、その他の水（井戸水など）を使用する場合は、状況に応じて水量制または人数制を適用します。

また、検針・納付は2ヶ月に1回とします。

※使用料計算方法についての詳細は、市広報11月号をご覧ください。

## 「質疑応答」

**Q** 使用料は4月にメーター設置されていないと間に合わないが。

**A** 4月までに、調査によって各家庭の水道使用形態が分かれます。水量制でも人数制でも大きな違いはありませんが、メーターをとりつけるまで人数制となります。

**Q** 集会所の扱いは。

**A** 集会所は、簡易水道以外の場合は、新たにメーターをつけていただきます。基本料金は調整中です。

**Q** 公共施設の下水道使用料について、行政が負担するケースと地域が負担するケースがあったが。

**A** 統一については下水だけでなく水道の問題もあるので、各部署で公共施設の維持管理形態の統一化に向けて協議しているところです。



使用料について調整中

## 市が公共事業評価委員会設置へ

安芸高田市が計画または実施する公共事業の効率性や事業実施過程の透明性の向上を図ることを目的として設置されるもので、学識経験者等により構成されます。

採択前の事業は事前評価、採択後一定期間を経過した事業は、社会経

済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて事業の見直し等を行い、再評価を実施します。

評価委員会の設置により、安芸高田市の公共事業の適切な実施を推進します。

産業建設常任委員会では、この評価委員会の運営が現実に活かされるよう、要望しました。

吉田町

# どうする下水道整備 「地元に必要な説明を」

## 〈概要〉

吉田町の下水道整備については、商業用地、工業用地を踏まえながら、一般住民が早く水洗化できるようにという観点で次のおり事業見直しが必要とされました。

(1) 郷野地域(左岸)を特定環境保全公共下水道事業(特環)から浄化槽市町村整備推進事業に切り替える。

(2) 吉田・丹比・可愛「特環」については、下水道整備に相当の期間(7年間以上)を要する地域で、浄化槽の整備を希望される場合はそれに応じる。

**Q** 郷野地域には今後幹線が敷かれないが、将来大きな工場が立地した場合等、どう対応するのか。

**A** 工場の下水処理は、自社処理するのが基本ですが、従業員用の対応は市が処理することになります。

幹線に接続するのと比べて新たに浄化槽を設置することになると費用は掛かりますが、現在の住民要望に沿える形を提案していきま。状況に応じた区域の見直し等は、今後の課題です。



下水道整備が進む吉田地区

ひとくち  
メモ

### 特定環境保全公共 下水道事業

通常の公共下水道整備を行える地域(都市計画区域)以外でも、一定の人数要件などを満たせば、管路による下水処理施設を整備できる事業です。

## 小泉総理大臣に意見書提出 「安全・安心で万全な BSE 対策を」

特定危険部位の除去に関する監視体制の構築や、中食・外食を含め、表示で使用状況を明示させ、消費者に選択の権利を与えることなど、万全な BSE 対策を強く求める意見書を提出しました。

視察

# 利便性や環境に充分配慮

今後の審査の参考に

山口・東広島  
11月1～2日

「視察目的」

委員会では、市の基本計画である葬斎場建設について、実際にどのような施設があり、どう運営されているか、今後の審査の参考とするため、視察を行った。

柳井市・防府市、東広島市の三市を視察したが、いずれも清潔感があり、利便性や環境にも十分配慮されていた。

### 3施設の比較表

区分	柳井市斎苑 人口36,703人	防府市斎場 悠久苑 人口119,641人	東広島市 ひがしひろしま聖苑 人口184,423人
供用開始	平成10年4月	平成15年4月	平成4年4月
構造規模	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 地上1階	鉄筋コンクリート造 平屋一部2階建て	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2階建て
敷地面積	7,095 m <sup>2</sup>	11,650 m <sup>2</sup>	16,196 m <sup>2</sup>
延床面積	1,469 m <sup>2</sup>	2,512 m <sup>2</sup>	3,154 m <sup>2</sup>
火葬炉基数	3基	7基	7基
葬儀関連	式場・控室2 告別室	式場・控室2 告別室3	ホール・式場・控室4 見送りホール、告別室2
待合棟	待合ホール 待合室3室	待合ロビー、多目的室 待合室4室	待合ロビー 待合室5室
駐車場	62台	99台	73台
総事業費	17億4,440万円	25億4,400万円	24億8,500万円
施設管理運営費(年間) いずれも市直営で火葬業務は委託	約1億円	約5,600万円 (人件費は別)	約9,600万円
火葬件数(16年度)	424件	1,187件	882件
通夜の利用率(16年度)	29件	113件	111件
葬儀の利用率(16年度)	110件	163件	128件

吉田町

竹本孝司さん

「負の遺産を  
残さないで！」

先の議会で市の未収金滞納金が5億円を超える  
と聞いた。  
国の補助、負担金が削減され、地方行政自治体へ税源が移譲されること  
の改革が進む中、大変な金額であると感じた。平成18年度の予算編成に向けての財源確保上、大きなマイナス「負の遺産」であると思います。  
市政の健全性を維持するためにも行政サイドで

### 傍聴記

## 私はこう思う

12月定例会傍聴者の方にご意見・ご感想をいただきました。



# お通夜から葬儀まで

## 「安芸高田市の課題」

視察先はいずれの施設も通夜・葬儀場・火葬場・収骨室・霊安室・待合室などが整備されている。葬儀場待合室は貸室扱いで、食事等も可能。従来の火葬場の負のイメージはなく、お通夜から収骨まで一貫して営む事が出来る、清潔感のある施設となっていた。

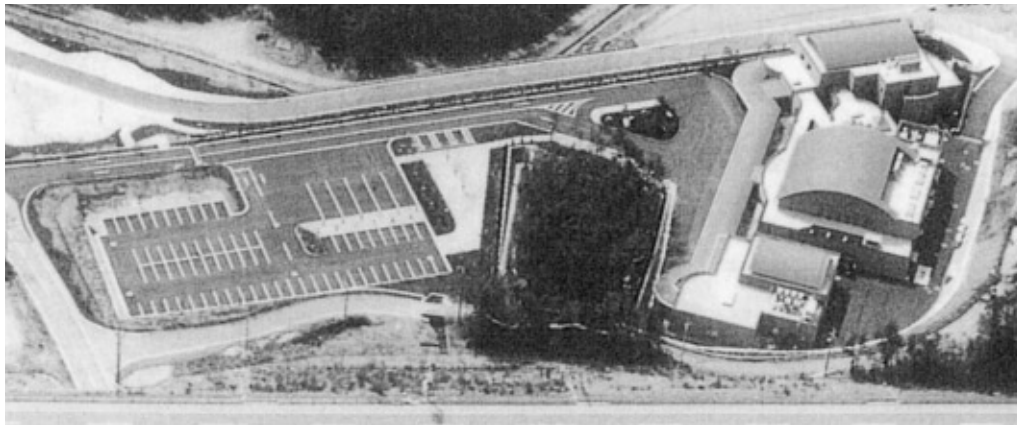
12月8日に視察のまとめを行ったが、委員の意見は、基本計画どおりの複合施設を建設すべきというものと、慎重に検討すべきというものと双方があった。今後も、十分、検討を行い、執行部から示される案に対し、市民の立場で検討した成果を生かせるよう審議を進めていく。



柳井市斎苑



防府市悠久苑



ひがしひろしま聖苑

あらゆる手段を積極的に講ずべきであると思います。権力のある行政が不公平の生じない対策をとられることを望むものがある。

吉田町

後平眞喜雄さん

久しぶりに市議会を傍聴する機会に恵まれた。12月14日、平成17年第4回定例会2日目を傍聴させてもらったのであるが、私は議員各位の日頃の勉強不足を感じざるを得なかった。一般質問は唯一の、市政全般にわたる問題を正すというか、質問をする場である。だから、担当部課長に尋ねれば解る様な質問はすべきでないと思う。議員各位は地域住民の厚い信頼を信託され、それぞれ議席を獲得されたのであります。議席の重さを充分認識され、更なる活躍を祈ります。

# 地域のかがやき

## 吉田 2006年書き初め大会



第22回可愛地区振興会 1月4日

## 八千代 三世代交流の集い



子ども達と栽培したそばを使いました。

## 美土里 鏡びらき



美土里剣道スポーツ少年団

## 高宮 成年! 目指せ ホールインワン!



元旦、ハーモニー広場にて  
第15回新春グラウンドゴルフ大会が開催されました。

## 甲田 市民の安全安心 がんばっています



第7分団と山田消防団 12月26日

## 向原 火の用心



12月12日  
こぼと園幼年消防クラブによる防火パレード

### 迎春

年末の大雪もおさま  
り、おだやかな日和のお  
正月を迎えることができ  
ました。

安芸高田市も3年目を  
迎えようとしています。  
市としての概観は整いつ  
つありますが、行政内部  
に渡ってはまだまだ多く  
の課題や矛盾が山積みし  
ております。

来月には新年度予算審  
議が始まります。将来に  
わたり住民サービスの向  
上が図れるような予算案  
であるかどうかに着目  
し、審議してまいります。

〈議会広報特別委員会〉

- ◎ 入本和男 青原敏治
- 加藤英伸 赤川三郎
- 玉川祐光 田中常洋
- 山本三郎 秋田雅朝
- 金行哲昭

編  
集  
後  
記

● 次の定例会は3月上旬の予定です。お気軽に傍聴してください。  
お問い合わせは議会事務局(☎0826-42-5621・有線2607-03)までお願いします。